

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
(第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月17日(第1日)

会場: プール

ゲームNo

1

帽子の色	白	1回戦	0	青	帽子の色
佐賀県立佐賀東高等学校		1 - 0		京都府立鳥羽高等学校	
9		2 - 3		7	
		3 - 4			
		3 - 0			
		EX.			
		-			
天候: 晴れ		P.T.		審判1: 大川 和二郎	
		-		審判2: 折笠 敬一	

戦評

平成22年度美ら島沖縄総体のオープニングゲームは平成19年佐賀インターハイから3年ぶりの出場となる佐賀東高校と22年連続出場し、4回の優勝を誇る鳥羽高校の対戦。

1P ファーストオフェンスは鳥羽高校、カットインとスクリーンプレーでゴールをねらいにいけど得点にならず。佐賀東高校のディフェンスはステップバックで完全にミドルシュートを打たせる布陣である。攻防が続く中、最初の得点は4:02白 吉田、鳥羽のマンツーマンディフェンスで押し上げられる中、ゴール前で退水を誘発しそのまま得点。鳥羽高校は7本のミドルシュートと残り1:22退水からのパワープレーを惜しくもディフェンスとGKに阻まれ得点にならず。このピリオドは1-0で佐賀東のリードで終了した。

2P 開始直後6:16鳥羽高校のミドルシュートがゴールポストに当たりリバウンドボールを青 小林が右サイドから落ちてシュートを放ち1-1の同点。その後同じく5:10白 佐伯がカウンターからのリバウンドボールを押し込み2-1。すると青 瀧川が退水を誘発し青 小林がパワープレーで2-2の同点。両者泳ぎあい長い攻防が続く中、相手のパスミスから鳥羽高校が見事なカウンターを繰り出し青 野村が右サイドからシュートを決め2-3の逆転。すかさず1:41白 小松が退水を誘発し白 吉田がパワープレーでミドルシュートを放ち3-3の同点に追いつき前半を折り返した。このピリオドでは同点と逆転が繰り返され体力の消耗が激しいピリオドになった。

3P 佐賀東のオフェンスから始まり6:33白 吉田が見事な5mシュートを決め1点のリードを奪うと青 市川が退水を誘発し青 小林右サイドから鋭いシュートで4-4の同点。両チームとも激しいゲーム展開が続きスピードが落ち始めたところで青 野村がカットインから粘り強くシュートまで持っていく5-4と今度は鳥羽高校が1点のリードを奪った。ここで負けずと佐賀東高校主将の 竹下がカットインからのフローティングで再度同点に追いつく。ここで青 小林がハンドアップとGKをかいくぐりミドルシュートを決めると青 瀧川が見事なバウンドシュートを決め、5-7と初めての2点差となるリード奪った。ここで流が鳥羽高校へと移りかけていたが残り24秒白 竹下が1点を返し6-7の1点差で最終ピリオドを迎える。

4P 絶対に勝利をつかみたい両者だが、最終ピリオドに入り佐賀東高校の体力が落ちることなく繰り出される怒濤のカウンターで流が大きく変わってきた。相手チームが疲れてきたところを白 竹下が切り返しからのワンタッチシュートで7-7の同点にすると、今度はカウンターで同じく白 竹下ゴールを決め8-7で逆転。鳥羽高校もミドルシュートやカットインでゴールをねらうがなかなか得点につながらない。最後の最後まで同点や逆転を繰り返していたが、1:06白 清水が退水を誘発すると白 竹下が今試合5得点目となるゴールで激しいゲームに終止符を打った。

両チームともレベルの高い技術であったが、佐賀東高校の最後まで泳ぎ続ける体力と勝利への執念に心から拍手を送りたい。

記録者

坂本 博文